

赤十字国際ニュース

2026 年 第 50 号 2026 年 8 月 14 日
(通 巻 第 1837 号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-1004

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

【速報 2】コロンビア地震：国際赤十字の緊急救援アピール に応え、日本赤十字社は資金援助を決定

2026 年 8 月 10 日朝（現地時間）に南米コロンビア西部で発生したマグニチュード 7.4 の地震による死傷者数は増加しており、現地当局によると、これまでに少なくとも 281 人が死亡し、3900 人以上が負傷したと報告されています（UNGRD、8 月 13 日時点）。コロンビア全土に加え、ベネズエラ、エクアドル、パナマでも揺れが観測され、25 回を超える余震が続いています（8 月 11 日時点）。



バジェ・デル・カウカ県で捜索活動に取り組むコロンビア赤十字社@CRC

■被災地で高まる人道支援ニーズ

政府の発表によると 14 県 357 自治体が被災し、複数の被災地では電力、上水道、通信、および保健医療サービスに深刻な支障が生じています。空港の閉鎖や道路の損傷、通信障害、継続する余震の影響により被災地へのアクセスが妨げられ、包括的な被害とニーズの調査に遅れが生じています。特にチョコ県では通信環境が不安定で、一部地域へのアクセスが依然として困難な状況です。

現地では引き続き、捜索救助、患者搬送、および緊急医療が必要とされており、避難所の設置や避難世帯への食料支援、安全な飲料水の確保などが求められています。

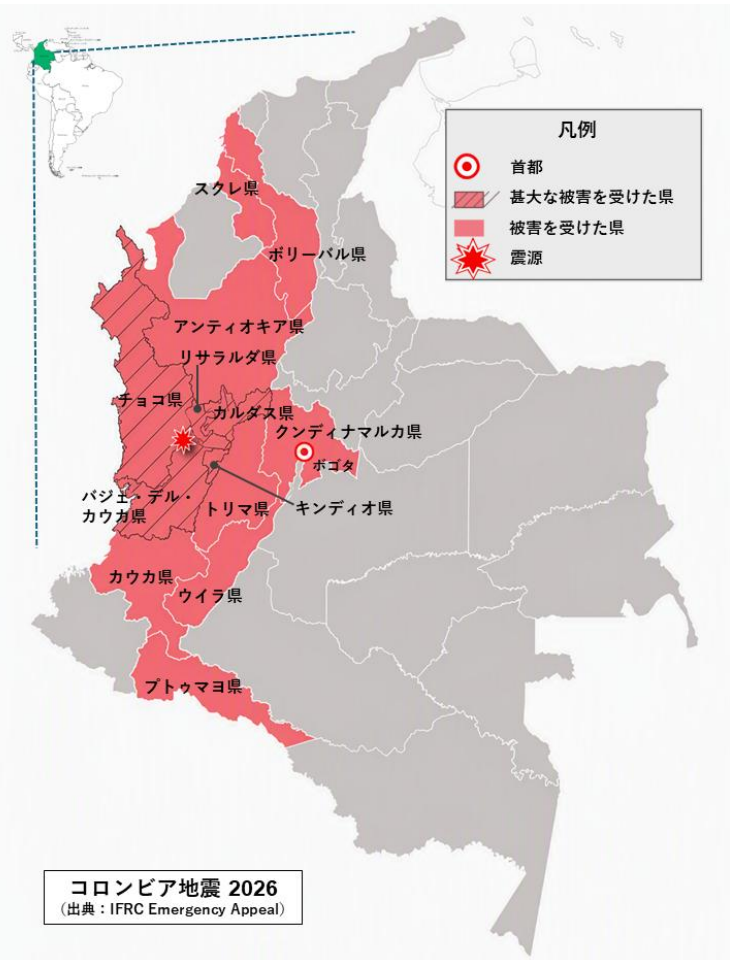
■国際赤十字による緊急救援アピールの発出

コロンビア赤十字社（コロンビア赤）は、コロンビアで最大の人道支援機関の 1 つであり、人道支援分野において、政府の補助機関として活動しています。31 の支部、3900 人のスタッフ、2 万 2000 人のボランティアを有し、全土で活動を展開しています。被災県にも 13 の支部がありますが、今回の地震でそれらの支部も影響を受けました。しかし、コロンビア赤のスタッフやボランティアは、地震発生以来、昼夜を問わず救援活動を続けています。

また、コロンビア赤を中心
に、国際赤十字・赤新月社
(IFRC)、赤十字国際委員会
(ICRC)、およびスペイン・ア
メリカ・カナダ・ドイツなどの
各国赤十字社が連携して対応
にあたるとともに、エクアド
ル・メキシコなどの周辺国に
ある赤十字社も、支援協力の
準備を整えています。

現地での活動を支援するた
めに、IFRC は発災直後に災害
救援対応基金 (DREF) から 100
万スイスフラン (約 2 億円) を
拠出しました。また、8 月 12
日には、コロンビア赤を中心
とした国際赤十字が被災者へ
の救援・復興支援活動を行う
ため、1000 万スイスフラン (約
20 億円) の緊急救援アピール
を发出了。この支援には、捜
索救助や応急手当、仮設
診療所の設置、被災した医療
施設への医療資機材や発電機
の提供、心理社会的支援とい
った保健医療分野の支援活動に
加えて、安全な水の確保や衛
生環境の整備なども含まれて
います。また、住宅の再建・修
繕、多目的現金給付といった
被災した人びとの生活再建に
向けた支援にも取り組む予定
です。

日本赤十字社は、現地の救
援活動を支援するために、IFRC
の緊急救援アピールに応え、
500 万円の資金援助を決定
しました。引き続き、IFRC、
ICRC およびコロンビア赤を
含む各国赤十字社と緊密に
連携し、さらなる支援に取
り組んでいきます。



コロンビアにおける地震の被災状況 (IFRC、8 月 12 日時点)

コロンビアにおける地震の被災状況 (IFRC、8 月 12 日時点)



バジェ・デル・カウカ県で支援活動を行うコロンビア赤十字社@CRC



メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それをとりまく最新ニュースをメールでお届けします。
メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックして
いただくか、二次元コードを読み込んでいただいた先の登録
フォームからお願いいたします。

